

2019 年 05 月(X 編)

2019年5月3日のアーカイブ

イワシで「オモテナシ」

昨日、
昼前イワシを獲りに海へ。

10時頃から釣り始めるがサッパリ。

一時間近く頑張ったが数匹。

諦めて帰ろうとしたそのとき・・・。

イワシが湧き出てきた。

実は今日、是が非でもイワシが欲しかった。

と言うのは義妹が友だちを連れて来島する。

必要分頂いて、意気揚々引きあげる。

イワシは「猫またぎ」などと言って馬鹿にするが、

それだけに「足が早い」。

イワシの処理は一刻を争う。

持ち帰り即捌く。

押し頂いた新鮮なイワシを刺身と寿司にして振舞った。

味にうるさい「ナニワ女たち」の舌をうならせた。

マイッタか！





2019年5月3日 カテゴリー：[フード](#) [釣り](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年5月6日のアーカイブ

朝採り野菜

「朝採り野菜」が宅急便で神戸から送られて来た。
ワイフの五十年来の友人が今朝採れた野菜をダンボール箱に詰め送ってくれた。

午後3時ごろ到着。

収穫の度に送ってくれる野菜に季節を感じながら美味しく頂いている。

朝採り野菜は前日に光合成で培った養分を消費することなく保った状態で採る。
夕方には養分が消費されてしまう。
すなわち活着している状態で収穫する。

したがって、朝採るのが一番養分を蓄えているということらしい。



2019 年 5 月 6 日 カテゴリー： [フード](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年5月8日のアーカイブ

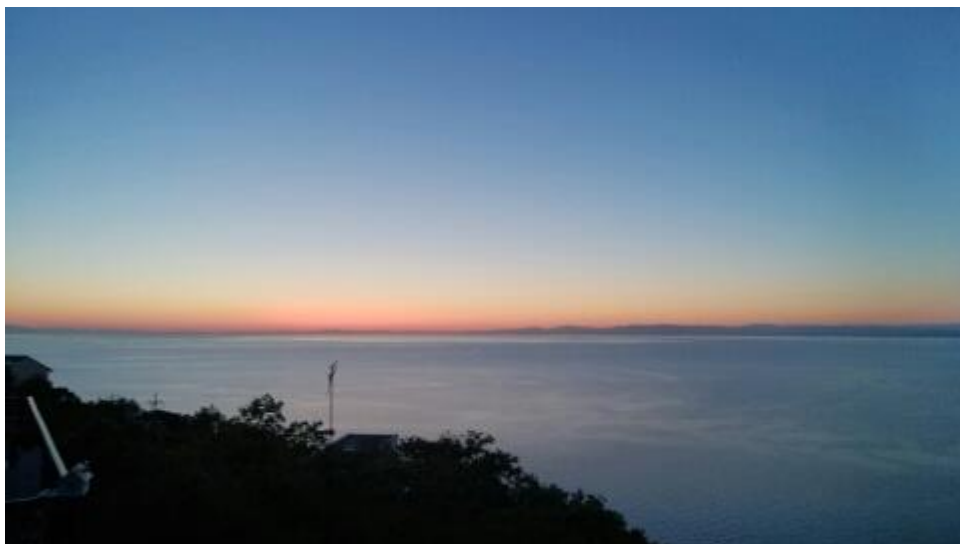
[5月の払暁](#)

5時前、東の空を撮った。

今日の空は皐月晴れが予想される。

おととい頂いた採れたての野菜のお返しにイワシの押し寿司を。

夕方出漁、イワシくんお願いします。



2019年5月9日のアーカイブ

[お返し](#)

過日「採りたての野菜」を頂いたお礼に、昨日イワシくんを求め出漁。

幸いこの日はイワシの大群がやって来た。

気まぐれなイワシくん、来ない日もある。

30匹ほど頂いて帰る。

帰って3枚におろし酢に漬け翌日まで寝かす。

酢は師匠におそわった通り酢に3%の塩と昆布。

「獲りたてのイワシ」で押し寿司を造り神戸へ帰る途中届けた。





2019 年 5 月 9 日 カテゴリー： [フード](#), [釣り](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年5月12日のアーカイブ

[新開地音楽祭](#)

孫の一人を迎えに新開地から三宮まで歩く。

孫は神戸空港多目的広場で行われる「カミングコーベ19」に参加したあと夕刻の7 時頃私たちと会う予定。

昼過ぎに家を出た私たちはウオーキング。

途中、通りのあちこちでバンドやデュエットに依る演奏を観る。

その内の幾つかに耳を傾けた。

今日の神戸は夏日。

暑い夏の始まりか？



2019年5月13日のアーカイブ

ライ麦畑の叛逆児&バッド・ジーニアス

先週の金曜日（10日）。



ライ麦畑の叛逆児

「ライ麦畑でつかまえて」等で知られるアメリカの作家 J・D・サリンジャーの伝記的映画。

戦場から帰還し戦後、世間と隔絶し隠遁生活を全うした。

世間と文壇に妥協することなく、初志を貫徹したサリンジャーの矜持を描いている。

バッド・ジーニアス

高校生たちによるカンニングを描いたクライムドラマ（犯罪者を主人公にしたドラマ）。入試でトリックを仕掛けるさまを描き出す。

成長著しいタイ映画を始めて観た。

（於いて湊川パルシネマ）

2019年5月14日のアーカイブ

雨の中の虹

午後6時02分、西日の残る雨空。

パラつく雨の中に虹。

ホットするひと時。



2019年5月14日 カテゴリー：[丸太小屋の四季](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年5月15日のアーカイブ

鰯シーズン終了か？

夕刻、イワシ漁へ。

イワシくんも数が少なくなってきた。

一週間に一度しか来ないがめっきり減った。

そろそろイワシ君は大海へ出てゆくのか？

それでも15匹ほど釣り上げた。

持ち帰り刺身でいただく。

残りは「開き」にして冷凍庫へ。

来週フライに。



2019年5月15日 カテゴリー：釣り 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年5月16日のアーカイブ

人魚の眠る家 & それだけが、僕の世界

人魚の眠る家



東野圭吾原作の映画化。

事故で脳死状態になった幼い娘。

選択を迫られる母と父親の葛藤。

人は遠くに逝ってしまった家族に導かれ成長する。

冷徹で優しい、そして明日に希望を抱かされる。

・監督・脚本：堤幸彦

・出演：篠原涼子／西島秀俊／坂口健太郎／川栄李奈／山口紗弥加

・ 2018年／日本

それだけが、僕の世界

イ・ビョンホンが主演。

元プロボクサーの兄とサヴァン症候群の弟との絆を韓国家族の軋轢の中に描いている。

弟がピアニストとして世に出る過程に心あたたまる。

・監督・脚本：チェ・ソンヒョン

・出演：イ・ビョンホン／パク・ジョンミン／ユン・ヨジョン

・ 2018年／韓国／Keys to the Heart

(於いて；湊川パルシネマ)

2019 年 5 月 16 日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年5月17日のアーカイブ

露天風呂 in スパー

昼前「すずらんの湯」へ。

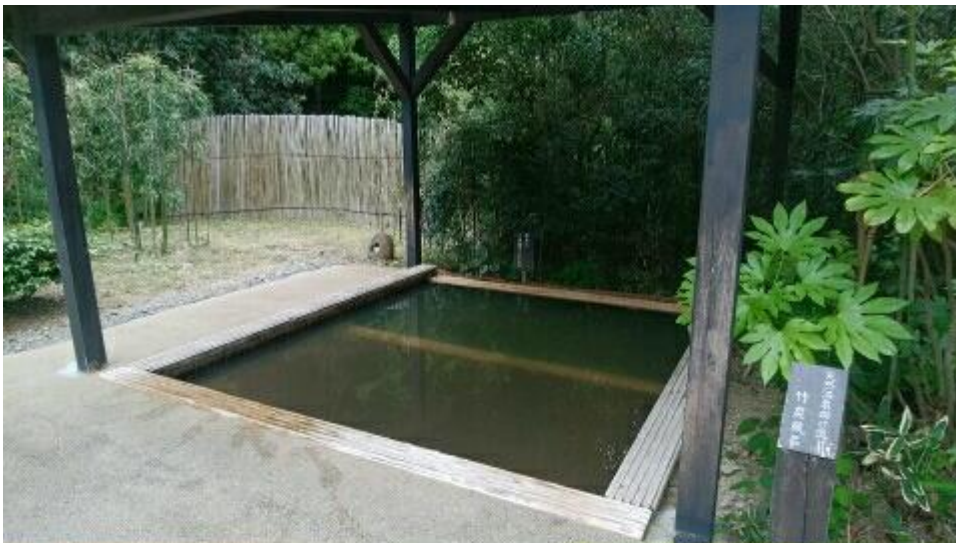
気温上昇と共に戸外の湯に浸かりたくなる。

五つほどある露天風呂の中から、ひと気のない幾つかをパチリ。

入浴後ランチ。

本日のメニューは「蒸しもの」。

露天風呂



「蒸しもの」



2019年5月17日 カテゴリー：[スパー](#) 投稿者：yuyu-sha

2019年5月21日のアーカイブ

本日のイワシくん

このところイワシくんは沖合いに去ったかと思っていたが今日は違っていた。
最近一週間に一度ほどイワシくんとデートをするが、本日は入れ食い状態。

釣り始めたのが午後5時、大潮の上げ三分。

よく釣れる潮と時間帯だ。

帰って「刺身」少々、多くを「開き」にして冷凍室へ。

あ〜、疲れた！



2019年5月21日 カテゴリー：[釣り](#) 投稿者：[yuyu-sha](#) [編集](#)

2019年5月23日のアーカイブ

[高原の露天風呂](#)

兵庫県の北部神鍋高原に来ている。

まずブルーリッジホテルの露天風呂を楽しむ。

風呂の前面が斜面で樹木の緑が映える。

露天風呂の醍醐味は自然を肌で聴くことだ。



神鍋温泉 深緑の風

Kannabe Spa. Shinryoku no kaze

自然豊かな神鍋から湧出する、源泉100%、PH8.7の
高アルカリ度のお湯は、まるで美容液のように
素肌をつるつるにしてくれる美肌温泉です。
緑の木々の中、マイナスイオンに包まれて、
至上のひとときをお楽しみくださいませ。



- 泉質 アルカリ性単純温泉(PH8.79)
- 効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、
関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、
痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

神鍋温泉効能及び注意事項

温泉名	兵庫県豊岡市日高町太田カネベ山158-84
泉質名	アルカリ性単純低温泉 低酸性、アルカリ性、低温泉
泉温	27.7℃(気温7.8℃)
温泉の成分	(1) 性 状 無色、透明、無味、わずかに硫黄臭を感じる (2) 水素イオン濃度(pH) 8.79 (3) 密度 0.9985 (20℃/4℃) (4) 溶解性固形物 0.132g/kg (1.10%)
分析年月日	平成21年2月21日
分析機関	兵庫県立健康科学研究所
一般的適応症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
一般的禁忌症	急性疾患、特に熱のある場合、運動性の低血圧、低性腺機能、貧血、心臓病

2019年5月24日のアーカイブ

[赤い三重の塔と九輪草](#)

JR 山陰線八鹿(ようか)駅から8km の所に妙見山日光院がある。

国の重要文化財である三重の塔を觀ようと訪れたが見当たらない。

居合わせた住職に伺うと8km 上がった名草神社に在るという。

塔に関する数奇な運命を住職は熱っぽく語った。

細い山道の参道を登ると神社の石碑があり、車で降りて来た人に三重の塔のあり場所聞いた。

ついでにと、その下に九輪草が満開だと近くを指差した。

車を停めまず九輪草を愛でた。ラッキー!

再び車で100メートルほど上ると突然赤い塔が目の前に現れた。

明治維新政府の廃仏毀釈に抵抗し、今に生き延びた塔は紅く輝いて辺りを払っている。



2019年5月24日 カテゴリー： [物見遊山・旅](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年5月30日のアーカイブ

マダムのおかしな晩餐会&おかえり、ブルゴーニュへ



マダムのおかしな晩餐会

身分を隠して晩餐会に出席したメイドに客の紳士が一目ぼれ。

そこから起こる波乱と混乱をコメディタッチで描く。

- ・監督・脚本：アマンダ・ステール
- ・出演：トニ・コレット／ハーベイ・カイトル／ロッシ・デ・パルマ／マイケル・スマイリー／トム・ヒューズ
- ・2016年／フランス／Madame

おかえり、ブルゴーニュへ

フランス・ブルゴーニュ地方に葡萄畑を営む家族の愛と葛藤を描く。

ワインを紬育てる人たちの誇りと絆をブルゴーニュに映す。

- ・監督・脚本：セドリック・クラピッシュ
- ・出演：ピオ・マルマイ／アナ・ジラルド／フランソワ・シビル
- ・2017年／フランス／Ce qui nous lie

(於いて；湊川パルシネマ)

